

20. 日進絆子ども食堂

記録：山田 水野 成

場 所：にぎわい交流館（愛知県日進市香久山4丁目7-6）

対 象：子ども 保護者

参加費：子ども無料 大人500円

代 表：山崎正信さん（68）

主 催：

初 回2016年6月19日 10:00～11:00 毎月第2日曜日

参加日時：2017年1月8日（日）11:00～15:00（ボランティア9:00～）

参加人数：大人32人 子ども24人 ボランティア30人

献 立：カレーライス サラダ 黒豆

参加者：山田美緒 水野桃弓

☆日進絆子ども食堂は、貧しい人だけでなく子どもならどんな子でもOK！

◎きっかけ

- ・「定年者の集まり」という会があり、月2回老人施設を回っている。キッチン絆でランチ提供をしたり、桜の木を植えたりしており人生の活性化になればと思って行っていたが、高齢者だけでは元気がでにくいため、子どもも必要と考えた。また高齢者の考えや礼儀などを若い子に受け継いでちゃんとした子に育ててほしいという思いも込められている。
- ・昔はお金や物欲だけで生きており、その代償に健康を犠牲にしていた。しかし60歳の時、楽しいことをしたい、それで相手に喜んでもらえればそれが私の生きがいだと思うようになった。
- ・一家団欒をセッティングする場として子ども食堂を開催しており、コミュニティの場を作るのは①スポーツ②音楽③食であると山崎さんは考えており、その中でも食を選んだ。

◎場所、ボランティア

にぎわい交流館一階サロンを使用しており、席数50席、厨房設備が付いている。日進市の施設で、1日800円で借りることが出来る。

実行委員長は樽見千春さんで、スタッフは10名。その中には名古屋学芸大学の栄養管理学科二名もいる。

◎資金

現在までの寄付者は現金個人5名・法人2社で、材料に提供は個人8名・法人2社である。場所の提供予定者2ヶ所、現時点では開催に無理がある。ボランティアをしてくれる大学は名古屋学院大の学生で、児童の遊びと、学習をお手伝いしてもらっている。

◎食材、メニュー

野菜は自分たち（地域の人）で作ったものの余りをもらいたい。（農薬を使っていないもの）沢山の方が寄付をしてくれるので経営は助かっている。メニューは学芸大学と実行委員長の樽見千春が担当する。

◎宣伝

個人だけではなく、行政の力をかりることで信用度や宣伝力の UP につながる。なかなか個人だけでは継続することが難しい。そのため行政と手を組むことで、助成金を増やすことができる。（新聞社から取材をうけたりもしている）区長に区内の回覧等や老人会、子供会でも案内を行う。

◎課題、悩み

定期的な集まる場は社会性をため、継続が大事であり人のつながりをつくる。流行だけで終わらせてはいけない。

◎感想

子どもの参加者はもちろんだが、大人の参加者も多くて驚いた。受付の時に、アレルギーがないか確認したり、手洗いと消毒をさせたり、子どもの健康面や衛生面に気を配っていた。段取りがしっかりしており、ボランティアの方の団結力を感じた。ボランティアの方はみんな気さくで、お手伝いをされていてとても楽しかった。

◎写真

